



20
歳代

通所リハビリテーションアルカディア
介護福祉士 砂川 あきの

さまざまな世代の連携が よりよい介護へつながる

利用者の皆さんをどのように支援していくか、日頃からスタッフで意見交換をしています。そんな時、経験豊富な先輩方がいかに細やかに利用者様をみつめているかに気付かされ、その姿を見ていると「もっと頑張ろう」と向上心が高まります。世代を問わず想いを共有できる仲間がいるからこそ、安心して利用者さんと向き合うことができます。



40
歳代

デイサービスセンターゆい
生活相談員 田中 千鳥

互いに支え合いながら 働きやすい環境づくりを

まだ経験が少ない20代のスタッフには、利用者さんへの接し方などアドバイスをすることがありますが、逆にフットワークの軽さや、いるだけでその場を明るくする笑顔など、見習いたい部分もたくさんあります。介護の仕事は、スタッフが一つのチームになることが大切。互いに支え合いながら、働きやすい環境をつくっていきたいです。



介護の現場は、 世代も経験も働き方もいろいろ。

介護の仕事の現場には、想像以上にさまざまな世代・年齢の「仲間」がいます。今回は年代別に「どんな仕事を担っているか」「介護から学んだこと」を伺いました。“一人じゃないから、頑張れる”。介護の現場は、そんな一つの想いでつながっています。



一つの視点ではなく、 多面的なケアが可能に

20代から60代までのスタッフが働いていますが、幅広い世代が共に利用者の方々の支援を考えることで、一つの視点だけではなく、さまざまな角度からアイデアや意見が生まれるのが“多世代協働”のメリットではないでしょうか。20代、30代は利用者さんに可愛がってもらうことも多く、私自身も毎日元気や優しさを受け取っています！



30
歳代

介護老人保健施設アルカディア
介護福祉士/主任 浜川 良子

人は皆“褒める”ことで やる気や活力を発揮する

私は県外出身ですが、40歳の頃に沖縄移住をしました。セカンドキャリアとして別業種から介護職に転職し、現場で働きながら介護福祉士の資格を取得しました。私が大切にしているのは、みんなを“褒める”こと。利用者さんもスタッフも、その人の個性や、“今できること”を掘り上げることのできると思っています。



50
歳代

小規模多機能ホームあん
介護福祉士 狩集 雄樹